

技短同窓会会報

第5号

編集・発行 同窓会会長・理事
発行部数:1,700部

熊本県立技術短期大学校同窓会会報



熊本県立技術短期大学校
同窓会会長 野田 泰
(第4期卒業 産業機械科)

今年は、猛暑になると報道で騒がれておりましたが、いざ8月になると猛暑日は2日しか無いという珍しい雨の多い夏でした。気候の変化が一番体調を崩しやすい状況でもありますので皆さんも体調管理には十分ご注意ください。

「今後日本のものづくりについて」

最近の日本経済は、安倍内閣に交代後少しずつ社会が変化しているのか？とニュースで言われています。直接私たちが感じることは少ないようです。しかしながら企業によっては受注が増加し納品が間に合わない企業があることもニュースで取り上げられて

いるのも目にします。では、どこに差があるのでしょうか。同じ国内企業でこれ程までに変化があることに目線に向けてみました。「コスト＝商品価値では必ず負ける」

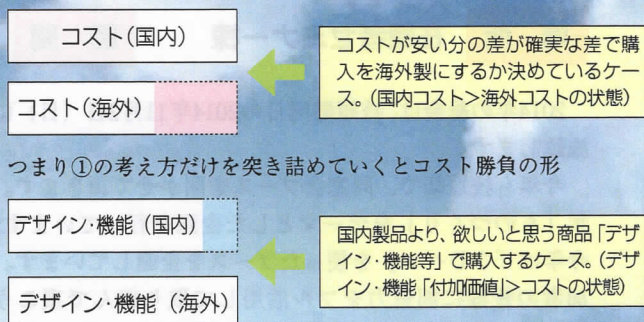
国内製品が海外製品と戦うには必ず「海外製品の強み」を考える必要があります。なぜ？海外企業製品が売れるのか？私なりに2つの答えが出てきます。

①ものを購入する際の金額が安い（コストが安い）

②金額を払ってでも購入したい付加価値がある

①つ目は単純明快。自分でお金を払う際に誰でも高く購入するより1円でも安く購入したいと思うからです。作る際に発生するコストは新興国に日本が逆立ちしても現時点で勝てる訳がありません。同じ機能をならば選択する理由にコストが入るのは当然です。

②つ目は国内企業では扱っていないデザイン、機能等を持った製品を販売しているからその機能を欲しい人は高いコストを支払ってでも購入する。



②では、価格では国内より高いけれども、欲しいと思う商品が海外製品にしか無い為、購入するという購入意欲がコストを上回る形。

これからも分かる通り①ばかりに目を向けていても最初から人件費が高い国内企業では海外企業と互角に渡り合うことが非常に難しいということです。

当然コストを無視することは出来ませんが、相手が「欲しい、いくら金額を出しても」という商品を考えていくことを日本企業は考えないと海外企業とのコスト競争ではやがて疲れてしまうでしょう。

この状況は日本のものづくりにとって危機的状況に見えますが、これは日本人が本来持っている文化「気配り、心配り」「職人魂」といったものが最大限に生かせるチャンスでもあると考えます。

こだわり抜いた製品をお客さんがみて「これが欲しい」と思ってもらえる商品を作り続けていくことで「ものづくり大国」としてこれからも世界をリードしていくことがベストではないかと思えます。

コストを上回る付加価値をつけることは並大抵のことではないかもしれませんが、少しづつですが、継続して考え抜いた先に生まれてくるものだと思います。実際にそういう考え方でものづくりを行っている企業が今忙しいことを物語っていると思います。この考え方を私たち若年技術者が今後常に持ち続けていくことが「ものづくり」を支えていく重要だと考えます。

2014年度の取組について

今年度の取組として、卒業生名簿の作成に着手致しました。これまでに卒業生数は1,600名を越え、会報誌の郵送、また送付先の確認・管理等も含め、現役員のみでの対応が限界であったのが要因です。同窓会支援の会社として、熊本県内の学校でも多くの実績をお持ちの「小野高速印刷」へ依頼致しました。卒業後、転居により郵送先が不明となるケースも多数ありましたので、現住所の確認から対応頂いています。

卒業生の皆様へは事前に連絡が出来ていなかった為、一部の方からは問い合わせがあり、御説明する事がありました。ちょうど個人情報保護流出に関するニュースがあったタイミングでもありましたので、卒業生の皆様には不安をかけてしまったかと思えます。大変申し訳ありません。皆様の情報に関しては、個人情報保護法に基づき、しっかりと管理してまいります。

郵送先について、一部の方では転居等あり、御実家へ郵送しているケース、または郵送先不明となり、郵送対応できなくなっているケースがあります。御実家に届いている方におかれましては、ぜひ現住所のご連絡を宜しくお願い致します。帰省のタイミングまで封が開かれず、情報が遅くなる事がありますので、ご対応ください。また、卒業後同期の方々と会われるかと思いますが、同窓会の郵送が届いて

いないという方がいらっしゃいましたら、同じく同窓会事務局までご連絡頂きますようお願い致します。

同窓会の活動としまして、これまで会報誌発送までに多くの負荷（記事作成、印刷、封筒作成、折込、封詰、封閉）を強いていましたので、これからは別の活動に注力したいと考えています。さっそくですが、今年は学校側と連携し、授業1コマを卒業生がおこなうという事にチャレンジいたします。これまでの活動として、在校生との交流会は授業とは関係無く、土曜日の午前中に希望者を募り実施して参りましたが、授業の一環として卒業生に協力頂く事となりました。

最近のニュースでは熊本県内でも有効求人倍率が1を越える状況となり、就職に関しては有利な状況が報道されていますが、私達製造業では依然として厳しい状況です。在校生にとっては、卒業生の生の声は非常に貴重なものですので、これから声がかかった際にはぜひともご協力をお願い致します。次ページに記載している卒業生に求めている内容を含め、実際に働く事のイメージができる話を中心に、学生に就職のイメージができるお話をさせて頂きたいと思っています。また、このような活動は在校生や技短の為というだけでなく、熊本の、日本のものづくり産業を活性化するための一つの活動と考えて頂きたく、宜しくお願い致します。

総会 & 技短祭案内

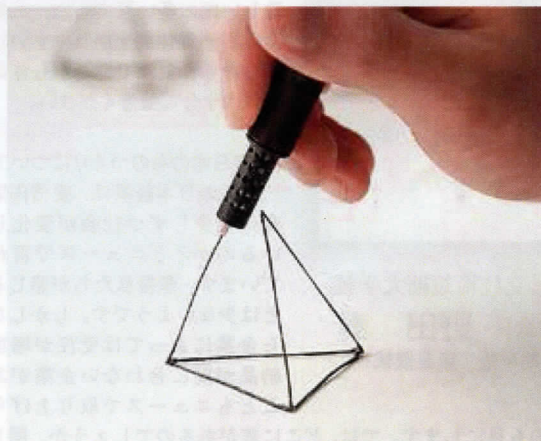
2014年の総会は、技短祭同日の2014年11月2日(日)に実施致します。

場 所 在職者セミナー棟

時 間 11:00~11:30(予定)

2014年の総会は、技短祭同日の2014年11月2日(日)に実施致します。

今年も技短祭で、同窓会ブースを開かせて頂きます。毎年「ものづくり」をテーマとした企画を行っていますが、今年は「3Dペン」を使ったブースを企画しています。参加者の皆様に創造力をフル活用して取り組んで頂こうと思っています。マニュアル通りの型にはまったものづくりではなく、0から生み出す楽しさを感じて頂く為、この企画と致しました。技短祭には先生方もたくさんいらっしゃいますので、日々の忙しさになかなか卒業後学校へ足を運べていない方も、ぜひこの機会に学校へいらしてください。宜しくお願い致します。



在校生との交流会開催

2013年12月7日(土)に在校生との交流会を実施致しました。

◇就職意識はどう考えればいいか◇技短と他大学の違い、メリットは何か等、在校生へのアドバイス、また卒業生の経験談等、ざっくばらんに話す事ができました。卒業生の皆さんが在校生の時にこういう話が聞ければよかった、等これから社会に出る在校生の為に参加しませんか？卒業生にとっても、これから入ってくる後輩との繋がりを作る事はコミュニケーション構築上、メリットがあります。新卒世代との関わりを作り、若手との交流を深めましょう。

交流会実施後は毎回アンケートを実施しています。前回の結果を一部下記にまとめました。

①就職活動で不安に思っている事

- ・ 社会に出て、技短卒の実力でついていけるかどうか
- ・ 在学中に取れる資格が少ない事
- ・ 希望の職種に就けなかった時どうするか？諦めて希望ではない職種に就職する。一年留年し、希望職種での就職に再チャレンジする
- ・ 就職試験で面接をする際にどう対応すればよいか
- ・ 技短には中小企業の求人が多く、大手からの求人は少ない。学校推薦のメリットが活用できない

- ・ 就職活動を有利に進めるために、今何をすべきか？
- ・ 一人暮らしをした事が無く、就職で遠くに勤務となった場合、一人になる事
- ・ 推薦を狙っているが、勉強しかしていないので、何か他にしないでいいのか

②その他卒業生に求めるもの

- ・ 卒業生に、何か聞きたい時に聞ける環境があると嬉しいです
- ・ 技術短大の周知、発展に卒業生の先輩方に協力して頂きたい
- ・ 技術短大に求人が来るよう、就職先の会社で頑張って頂きたい
- ・ 卒業生と話をできる機会をもっと作って欲しい

平成25年度決算・26年度予算

①収入の部

(単位:円)

項 目	25年度決算	26年度予算	備 考
繰 越 金	6,810,733	7,181,845	
会 費	1,010,000	990,000	平成26年度新入生99名
諸 収 入	1,210	0	
計	7,821,943	8,171,845	

②支出の部

(単位:円)

項 目	25年度決算	26年度予算	備 考
運 営 費	303,565	1,050,000	同窓会P C、名簿費用、卒業生記念品代含む
技短祭費用	173,401	400,000	イベントブース運営費用、備品含む
郵 送 費	149,965	260,000	会報誌作成、郵送段取り作業、発送費用
そ の 他	13,167	20,000	交流会運営費用
計	640,098	1,730,000	

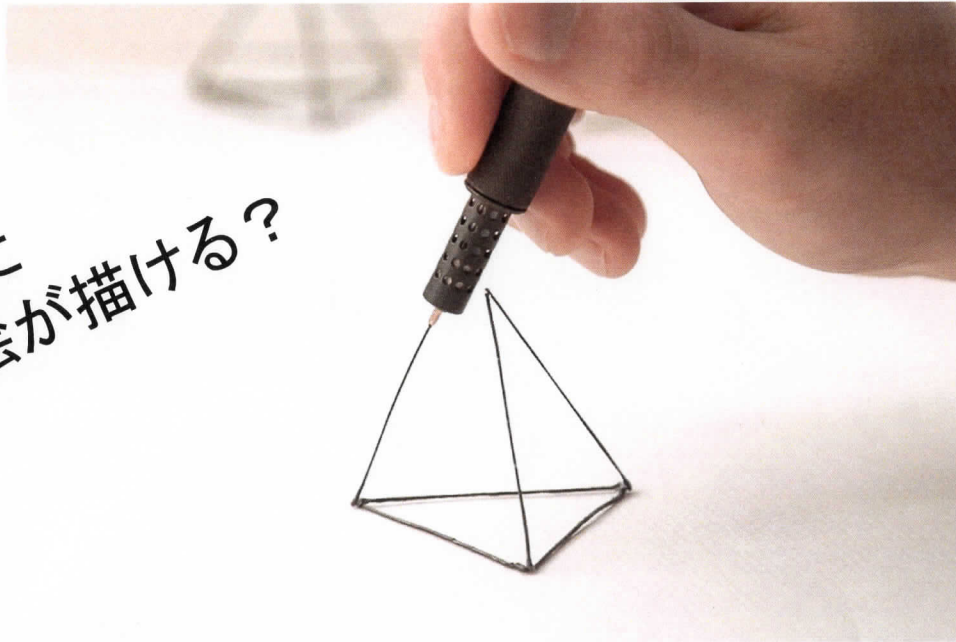
2014年3月 異動・退職者

檜山 隆 校長	森 通博 指導員
石貫 秀一 副校長(異動)	中嶋 康博 講師
脇坂 幸樹 教務学生課長(異動)	瀧口 透 准教授
高野 浩二 准教授	大岩 隆志 講師
古閑 民夫 准教授	

熊本県立技術短期大学校-同窓会ブース-

3Dペンを体験！

空中に
絵が描ける？

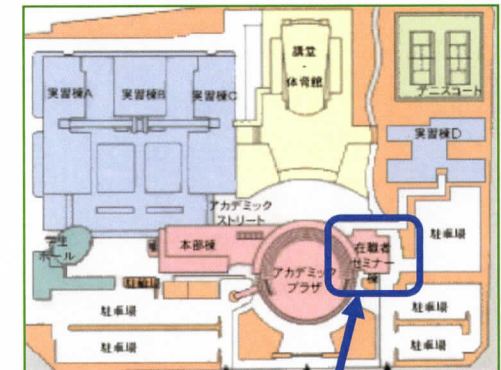


休憩所設置

喫茶コーナーを用意しております。
気軽にお立ち寄りください。



ブース場所



在職者セミナー棟で行っています。
卒業生が運営していますので、卒業後の話も気軽におたずねください。お待ちしております。

スーパーボールすくい

ものづくりを体験して、
ボールすくいに挑戦！

